

研究実施のお知らせ

2026 年 5 月 8 日 ver.1.0

研究課題名

慢性骨髄性白血病患者におけるアシミニブの有効性と安全性に関する後方視的観察研究

研究の対象となる方

2022 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 1 日の間に、京都第一赤十字病院においてアシミニブによる治療を受けた慢性期慢性骨髄性白血病の患者様が対象です。

研究の目的・意義

慢性骨髄性白血病（CML）の治療において、既存のチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）に対する不耐容（副作用などで継続できないこと）は大きな課題です。新しい作用機序を持つ「STAMP 阻害剤」であるアシミニブについて、当院での実臨床における有効性と安全性を後ろ向きに解析し、その実態を明らかにすることを目的としています。

高齢者や多剤治療歴のある日本人の実臨床データは未だ限定的です。本研究により、これらの患者群におけるアシミニブの有用性を明らかにすることは、今後の CML 治療戦略の最適化に寄与し、将来的には治療や予後の改善に繋がることが期待されます。

研究の方法

この研究の解析は、京都第一赤十字病院で行います。

当院の診療録（カルテ）に記録されている既存情報を用いて、アシミニブの安全性および有効性について後方視的に解析を行います。

あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。研究用に収集する情報は、氏名や診察券番号とは切り離して管理し、新たに符号（ID）を付けて匿名化します。個人と符号を結びつける対応表は、研究責任者が厳重に管理し、外部に提供されることはありません。

本研究のために作成されたデータベースは、論文発表などが終了した後、速やかに廃棄されます。

研究の期間

2026 年 5 月 20 日～2027 年 12 月 31 日

研究組織

●研究代表者（責任者）：京都第一赤十字病院 血液内科 医師 村松 彩子
分担研究者：内山 人二、岩井 俊樹、松本 洋典、古林 勉、杉谷 未央、
埜中 広一、髙谷 茜、大内 ゐみか

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、お申し出いただければ利用を停止することができます。それにより、今後の診療等においていかなる不利益を被ることもございません。ただし、解析が終了し結果が公表された後などは、情報の一部を削除できない場合があります。利用停止を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

相談・連絡先

この研究について詳しく知りたい方、ご自身の情報を利用してほしくない方、その他ご質問のある方は、次の担当者にご連絡ください。

相談窓口

京都第一赤十字病院 血液内科 村松 彩子
〒605-0981 京都市東山区本町 15-749
電話：075-561-1121（代表） FAX：075-561-6308